

第2回 QIQB セミナー

量子ビットから創発する宇宙

日時： 2022年12月16日（金）15:10～16:40（ハイブリッド形式）

会場： 基礎工学国際棟 シグマホール（豊中キャンパス内）

*会場の様子をオンラインで同時に配信

講師： 高柳 匡 氏（京都大学基礎物理研究所・教授）

1975年東京都生まれ。1998年東大理学部物理学科を卒業。同大理学系物理の博士課程を2002年に修了後に渡米し、ハーバード大学やカリフォルニア大学サンタバーバラ校にてポストドク研究員として勤務。その後、京大理学部物理、東大カブリIPMUの教員を経て、2012年に京大基礎物理学研究所に教授として着任し、現在に至る。

専門は素粒子理論、中でも超弦理論。特に、宇宙が量子情報の集合体と解釈できることを示す公式を発見したことで知られている。

これまでに「ニューホライズンズ物理学賞(New Horizons in Physics Prizes、2015年)」や「仁科記念賞(2016年)」などを受賞し、また、それらの功績と共に、2020年には「稲盛科学研究機構フェロー」に就任している。

ウェブサイト：<https://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~tadashi.takayanagi/?1>

講演内容： ブラックホールの考察から発見された「ホログラフィー原理」と「量子情報理論」が結びつくことで、「宇宙は量子ビットが集まったもの」という新しい物理学の描像が生まれ、注目されている。本セミナーでは、基礎からスタートし、ブラックホールの情報問題など、最新の研究の進展まで解説したい。

対象者： 本学教職員および学生

参加方法： 事前申込が必要となります。

下記「参加申込用入力フォーム」に必要事項をご入力ください。

<https://forms.office.com/r/AermyRb8tF>

〆 切： 12月13日（火）

なお、会場での参加希望者が定員に達した場合、締切日を待たずに、申込を締め切ることがあります。予めご了承ください。

問合せ先： 量子情報・量子生命研究センター seminar@qiqb.osaka-u.ac.jp

主催： 量子情報・量子生命研究センター

共催： 大学院基礎工学研究科

参加申込用
入力フォーム
QRコード

